



城西大学水田記念図書館報

図書館ホームページ

<http://libopac.josai.ac.jp>

図書館メールアドレス

library1@josai.ac.jp

TwitterID @lib_josai

図書館ツイッターのQRコードはこちら→



[twitter.com](https://twitter.com/lib_josai)

ドストエフスキーは無理でも

現代政策学部 准教授 図書館運営委員 木原匡

「学生の中に長い小説を読んでおかないと、就職してからでは読む時間がなくなります。ドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』を私はいまだに読んでいないんですよ。大学2年のときに英語の先生から聞いた話が、今も耳に残っています。単に「本を読め！」ではなく、ご自身の経験とドストエフスキーの名前で印象に残る言葉になったのでしょうか。

Q1: 大学教員は長い小説も読めないほど忙しくはないのではないかと？

Q2: ドストエフスキーはそれほどまでに読むべき本なのか？

それ以来20年にわたる疑問を投げかけてくれた一言になっています。Q1には、城西大学に就職してすぐにチャレンジしました。通勤の池袋から坂戸までの45分を使って、反証してやろうと。区立図書館で借りたサッカーの『虚栄の市』岩波文庫全6巻(1階文庫コーナー 933//Th1)※は読み通しました。しかし、その後電車の中でもノートPCで仕事をするようになって、ドストエフスキーを読み始めることすらできず、Q2は未解決です。Q1も英語の先生が仰った通りなのか、それとも当時はなかったwimaxやLTEのせいなのか…。

図書館を利用されるみなさんに、マルクスの『資本論』(開架図書(3階) 331.6//Ma59)やケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』(開架図書(3階) 331.74//Ke67)をお薦めしても、実際に読んでいただける可能性は限りなく低いでしょうし、私が言っても説得力がないことです。手軽に読めて、多くの方に役立つような本というと、柳川範之・水野弘道・為末大『決断という技術』(開架図書(3階) 336.1//Y51)はいかがでしょうか。経済学者と投資家と陸上選手による「決断」についての鼎談です。よく言われていることですが、日本の組織では、誰がどのような権限に基づいて決定をしているのかわからないことがよくあります。この曖昧さについて、一面的に否定するのではなく、そのようなことが起きる理由、その結果生じている問題点を、対話の中で見つけていく内容です。異色の顔合わせですが、考え方に共通点が多いことに驚かされました。経済学の考え方の生きた実例が豊富にある面白さに加えて、スポーツの視点から、金融投資の視点から見ても興味深い内容に違いありません。

ちなみに、大学2年生の私にドストエフスキーを読んでおきなさいと教えてくださった先生は、昨年、定年前に早期退官をされたそうです。退官されてようやく『カラマーゾフの兄弟』(開架図書(2階) 908//Se22//45 ほか)を読む時間ができたのか、退官してもやはりお忙しいのか、機会があればお話を伺いたいものです。

※ 当館では2004年刊の全4巻を所蔵しています

2月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

図書館開館時間

- =9:00~21:00
- =8:30~21:00
- =9:00~19:00
- =9:00~17:00
- =休館日



第3期学生アドバイザー から皆さんへ

「学生が学生に相談できる制度」として発足した学生アドバイザー制度も今年で3期目。1年の締めくくりとして、アドバイザーの皆さんから一言コメントを頂きました。

大学院経営学研究科1年 大倉 優太

アドバイザー活動を通して、改めて図書館には学習に取り組むための環境が整っていると感じました。この1年間、より多くの学生にアドバイザーや図書館を利用してもらえるように活動してきましたが、それが皆さんの大学生活を少しでも有意義なものにしていたら嬉しいと思います。1年間貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

薬学部薬科学科4年 田中 寛奈

私はアドバイザーの活動を通して、多くの在学生や図書館員の方々、そしてアドバイザーの仲間達と出会うことができました。アドバイザー同士でイベントを企画し話し合い、図書館員の方と協力して実行していく過程はとても良い経験になりました。一年間本当にありがとうございました。

大学院経営学研究科1年 小嶋 識喜

アドバイザーとして活動して、気が付けばもう一年が経ちました。学部生として四年間過ごしてきたはずなのに、学生の質問に戸惑うことも多かったです。そのたびに、学生に満足してもらえるよう努力しました。それが少しでも学生のためになっていれば、と思います。この一年間ありがとうございました。

大学院薬学研究科1年 小岩井 成貴

私はアドバイザーの活動を通して、自分の知識や考えを相手に伝えることの難しさを学ぶことができました。アドバイザーとして至らない点が多くあったと思いますが、たくさんの人に支えられ伸び伸びと活動できました。1年間ありがとうございました。

現代政策学部社会経済システム学科4年 小山 夏美

学生アドバイザー業務を通し、多くの人に出会い、城西大学の魅力をさらに感じる一年となりました。自分の経験を活かす企画は、不安と失敗の連続だったように思いますが、参加してくださった方の意見や表情に何度も助けられ、たくさんの感動を体験することができました。1年間本当にありがとうございました。

学生アドバイザー の1年を振り返る

学生アドバイザーは学習の相談だけでなく、いろいろな企画を運営して、皆さんの大学生活を盛り上げています。

勉強、手伝います！

資料探しからパソコンの使い方まで、皆さんの学習をお手伝い

「本が見つからない」「課題が出たけどどうしたらいいかわからない」など皆さんの「困った!」をお助けしています。



しおりさんはじめました

読書推進活動「しおりさん」で本の感想をシェアしています

学生おすすめの本を、感想文つきのしおりで紹介しています。現在36種類、まだまだ増えます。あなたのおすすめもぜひ!



現代政策学部社会経済システム学科3年 吉田 友里恵

学生アドバイザーになり1年が経ちました。最初は不安でいっぱいでしたが、青いアドバイザーの制服を着ていると自分から学生や先生への挨拶、「大丈夫ですか？」の声がけもできるようになりました。自分も知らなかった図書館の魅力、便利さを改めて感じることができました。1年間ありがとうございました。

経営学部マネジメント総合学科3年 田口 成美

私は今年度の後期から学生アドバイザーに加わりました。活動をしていく中で、大学の図書館が沢山の資料、情報であふれていると感じました。半年間を通して、様々な経験を積むことができてよかったです。ありがとうございました。

理学部数学科3年 川端 明昌

学生アドバイザーの業務を通して、ここには書ききれないほどの発見や出会いがありました。そのなかで自分の価値観を広げることができました。この経験を今後活かしていきたいと考えています。今まで本当にありがとうございました。

経営学部マネジメント総合学科3年 北裏 裕志

1年間を通して、利用者や図書館員の方など、いろいろな人と接することが何よりも楽しいと思いました。うまく対応できない場面も多々ありましたが、日に日にアドバイザーとしての成長が感じられ嬉しかったです。支えてくださった方々、1年間ありがとうございました。

経営学部マネジメント総合学科3年 星野 誉志紀

私は後期から学生アドバイザーとして活動させていただきました。この活動を通して大変なこともありましたが、学んだことも多くありました。とくに一期一会という言葉があるように、その時々に出会った学生の方との繋がりを大切にできた半年間だったと思います。

経済学部経済学科4年 瀬川 紘羽

学生アドバイザーとしての1年間は、あっという間に感じました。他学部の学生たちとの交流も多く、様々な考え方に触れることができました。とても貴重な経験ができ、楽しく活動することができました。ありがとうございました。

「図書館から始める就活」を開催 就職活動で使える図書館の「宝」 を紹介しました

就職課と共催で、図書館のデータベース活用
法や内定者の経験談、エントリーシートの記
入などが体験できるイベントを開催。



ビブリオバトルで本を熱く語る 全国大会出場者も選出した知的書 評合戦！

お気に入りの本を5分でプレゼンし、一番読
みたくなった本を選ぶ書評バトルを開催。参
加者のレベルも年々上がり、今年はずいに全
国大会にも！ 求む、挑戦者！



ライブラリーラウンジで課外授業 第2回ライブラリーラウンジを 企画・運営

数学科の小木曾先生を講師にお招きして数
学的思考法の面白さを学びました。
第3弾もたたいま企画中です。





研究室訪問 Vol.3

理学部 秋田先生、薬学部 古旗先生、
中谷先生の研究室を訪問しました。

今回は化学科の秋田先生、薬科学科の古旗先生、中谷先生とのお話の一部をご紹介します。

理学部化学科 秋田先生

「化学科の教員ならお気に入りのブルーバックスが1冊はあるはず。一文添えていただいて、図書館で展示してはどうか」とのご意見をいただきました。

新書の利用促進のため、新刊を手に取りやすい場所に移動したほか、教員おすすめの本を広く募集して推薦文付きで展示するなど、読書推進活動の参考とさせていただきます。

薬学部薬科学科 古旗先生、中谷先生

「読書は文章の上手さにつながり、論文執筆にも必要なことです。学生にはどんどん本を読んでほしい。データベース講習会は、3年生の研究室配属後、10月以降にやってもらえると良いですね」このご指摘のもとに、後期の医中誌Web（医・薬学分野の論文検索データベース）講習会を、薬学部の全学科が参加しやすいよう、時期をずらして2回開催しました。

今後も全学部の先生方を対象に、順次訪問させていただく予定です。

今回は語学教育センター 吉田先生、経済学部 増山先生について、研究室訪問の様子をご紹介します。（文責 図書館）

電子黒板イチ押し情報

図書館6階グループ学習室Bに設置中の電子黒板を現在、手続きせずに自由に使えるようになっています。⁽¹⁾グループでの勉強やミーティングにお役立てください。

■ 電子黒板ならではの使い方

- ・会議なら…レジュメを投影→議論した内容を黒板に書き込み→最後に画面を保存して議事録完成！
- ・保存した画面を呼び出して前回の続きからスタート
- ・自分のスマホやタブレットからも投影できる！⁽²⁾

- (1) 授業・会議等で使用しているときもあります。
- (2) アプリケーションのインストールが必要です。



投影！ 保存！ 操作！

最大4台のPCの画面を並べて投影できます。

画面の静止画や操作を動画として保存可能。

専用の電子ペンを使い、ボードに投影した資料の拡大や移動、書き込みができます。

図書館彙報

今月の展示コーナー

「のぞいてみよう宇宙のはてな」

図書館から宇宙のひみつをのぞいてみませんか？ 学長推薦の「宇宙は何でできているのか」やオールシーズン対応の星座ガイド「始める星座ウォッチング」など、空気の澄んだ冬空のお供にぜひどうぞ。

ただいま春の長期貸出期間中です

大学1-3年生、短大1年生の図書の返却期限は4月8日です。

☆春休み中も平日は21時まで開館しています。

卒業見込生の返却日は3月6日まで

卒業年次生・別科生・科目等履修生は期限を忘れずに返却して下さい。

郵送での返却も受け付けています。

1月の出来事

- 1月13日 図書消毒器をトライアルで設置しています。ぜひ使ってみてください。
- 1月14日 日本医学図書館協会・日本薬学図書館協議会合同委員会に参加しました。
- 1月23日 坂戸市立図書館協議会に参加しました。